※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　デザイン科

教科	工業	科目	情報技術基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選情報技術基礎」　（実教出版）						
副教材等	情報デザイン　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報や情報技術と社会や生活との関わりについて主体的に考える姿勢を養いましょう。
・デザインの定番ソフトである「Photoshop」を使用ながら、画像処理を例に情報のデジタル化など情報技術の基礎的知識から、デザイン現場でデジタル画像がどのように処理されるか、「Illustrator」など他のデザインソフトと連係させながらどのようにデザイン実務を進めていくか学びましょう。

２　学習の到達目標

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報技術に関する知識と技術を習得させ、デザイン分野において情報技術を主体的に活用する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の果たすべき役割に関心を持つ。 ソフトが使いやすさを提供していることに関心を持つ。 デザイン業務必須のソフトに関心を持ち、それらを活用できるよう学ぶ。	データと情報の関係について思考し、目的に応じたソフト選択を判断し、デザイン業務における必要に応じた判断ができる。また、情報の受け手にとって分かりやすい表現ができる。	コンピュータの基本操作。デザイン業務に係る様々なソフトの操作を必要に応じて連係させながら効率的に行うことができる。	情報環境の進展と影響を理解する。デザイン業務にデジタル技術がどのように活用されているか理解する。分かりやすく情報をデザインするために必要な知識を学ぶ。
評価方法	学習状況の観察 定期考査	学習状況の観察 実習課題作品 定期考査	学習状況の観察 実習課題作品 定期考査	学習状況の観察 実習課題作品 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	産業社会と情報技術	・情報とは何か ・情報処理とは何か ・メディアリテラシー ・コンピュータの特徴 ・情報化の進展と産業社会	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		 ○	a:情報の役割に関心を持ち。 b:データと情報、情報と表現の関係について考え。コンピュータと他の道具との違いを考え。 d:ユビキタスな情報環境の進展を理解し。情報リテラシーを身に着ける必要性を理解する。	授業観察 定期考査
1学期	コンピュータの基本とソフト　データの表し方	・ソフトウェアの基礎 ・アプリケーションソフトウェア ・図形処理と画像処理の違い ・デジタル画像の基礎１ 画素、PPI と DPI 情報のデジタル化１ 標本化 データの圧縮、JPEG 形式 ・デジタル画像の基礎２ コンピュータの色の処理 情報のデジタル化2 量子化、符号化 情報量の基本単位 カラーマネージメント	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:ソフトが使い易い環境を提供することに関心を持ち。 b:目的に応じてどのソフトを活用すべきか判断し。 c:基本操作を習得しながら、 d:デジタル画像の基礎について理解しながら、情報のデジタル化などの基礎についても理解する。 b:そのうえで目的に応じた適切な画像解像度、カラーマネージメントについて考える。	授業観察 実習作品 定期考査
2学期	画像処理ソフトウエア	・Photoshop 基礎1 様々な選択範囲の作り方 ・Photoshop 基礎2 レイヤーの活用	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:デザイン業務必須の画像処理ソフトを学ぼうとしている。 b:状況に応じた選択範囲作成方法、レイヤーの活用方法を判断できる。 c:様々な方法で選択範囲を作成できる。レイヤーの様々な機能を活用できる。 d:選択範囲、アルファチャンネル、マスクの関係を理解する。	授業観察 実習作品 定期考査
2学期	画像処理ソフトウエア	・Photoshop 画像編集練習 写真の修整　ヒストグラム レベル補正　トーンカーブ レタッチ ・Photoshop 画像編集応用 自分で作業手順を考え作品を作る。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:　デザイン業務必須の画像処理ソフトを学ぼうとしている。 b:良い写真とは何か考える。目的に応じた合理的作業手順を思考できる。 c:効率的に作業できる。 d:デザインに係る画像編集についての知識と理解。	授業観察 実習作品 定期考査

※令和３年度以前入学生用

３学期	画像処理・図形処理ソフトの連係	・DTP の基礎 Photoshop と Illustrator 等ソフトの連係した活用 DTP の歴史 TIFF、EPS などファイル形式 文字組　ページレイアウト ・商品リーフレットの作成	○	○ ○	○	○ ○ ○	a:DTP について学ぼうとする。 b:見やすさ、可読性などについて判断できる。 c:複数ソフト連係させながら効果的なページレイアウトをできる。 d:デザイン・印刷に係る知識と理解。	授業観察 実習作品 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。